

公共事業再評価調書

主管課： 都市計画課

1 事業概要	事業名： 奥武山公園整備事業			
	事業種別： 都市公園事業	事業主体： 沖縄県	前再評価時事業期間：S47～H11	
	事業箇所： 那覇市	根拠法令： 都市公園法	今回事業期間：S47～H16	
	総事業費(百万円)： 15,680	費用内訳： 補助 1/2	事業量： 29.8ha	
(整備目的)	県民の健康志向の高まりや、余暇利用の多様化に伴うニーズに対応するために、スポーツレクリエーションや交流を広げる場として多くの県民に広域的に利用出来る公園として整備する。			
2 再評価 該当項目	<input type="checkbox"/> ① 事業採択後10年間を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業採択後5年間を経過して未着工 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 再評価後一定期間(5年)を経過 <input type="checkbox"/> ④ 事業の中止			
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨ その他()			
4 事業の 進捗状況 (H15.3時点)	項目	事業費(百万円)	整備(ha)	用地取得(千㎡)
	計画	15,680	29.8	298.0
	実施済	11,270	25.2	288.8
	率	72.0%	84.6%	96.9%
5 事業効果の 評価指標 (検討年50年) (基準年H15) (単位:百万円)	①直接便益(旅行費用価値)	42,092	① 用地費 11,765	
	②間接便益(環境の維持・改善、都市防災機能)	11,231	② 施設整備費 12,004	
			③ 維持管理費 2,883	
	基準年換算(B)	53,323	基準年換算(C) 26,652	
	費用便益比(B/C) = 53323 / 26652 = 2.0			
6 事業を巡る 状況の変化	① 社会・経済： 少子高齢化が進展している今日、心の豊かさや癒しを求める国民の価値観とライフスタイルの変化に伴い、快適で潤いのある生活環境を支える公園整備が必要とされている。また、モノレールの供用に伴いアクセス性が向上し、来園者の増加が見込まれる。 ② 地元・自治体： 施設の充実を図るために那覇市において野球場と陸上競技場について、設計を含め再配置計画を検討中である。 ③ 利害関係者： 特に問題なし。 ④ その他： 教育庁では平成22年度開催のインターハイに向けて、水泳プールの改修計画がある。			
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 県民の生活意識や価値観の変化、余暇時間の増加に伴うレクリエーション需要の増大等、多様化する利用者のニーズに対応するために事業を推進する。また、モノレールの供用に伴いさらに当該公園へのアクセス性は向上し、利用促進にもなることから、早急に整備(歩行者専用橋、広場、耐震性貯水槽)を進め、完了させる必要がある。 ② 事業の効率性(代替案等の可能性)： 当該公園の進捗は84.6%であり、事業期間を延伸し平成19年度には完了予定である。よって現計画を推進する。 ③ 事業効果の発現状況： 運動施設や多目的広場を中心に多くの来園者に利用されており各種イベントの会場としても使用されている。			
8 今後の対応 方針・見直し	① 事業計画等： 事業期間を延伸し、平成19年度に整備完了し、全面供用する。 ② 対住民関係： 特に問題なし。 ③ 執行体制等： 現在の組織体制で計画通り執行は可能である。			
9 評価	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止			